

3 本時（第3時）の目標

「将来なりたい自分」になるために必要なことを、これまでに考えてきたリーダー像をもとに考える。それを相手にわかりやすく、階層式マッピングでグルーピングしながら論理的にまとめて、ALT や友人に伝えることができる。

4 本時の展開

() : 教師主導の活動 () : ペアやグループでの活動 () : 個人の活動

段階	時間	学習内容 (学習形態)	教師の役割		※指導上の留意点 ◆評価【観点】
			JTE	ALT	
導入	10分	○帯学習 ・ <u>テーマトーク</u> 1 分間で決められたテーマについて英会話を 行う。 ・ <u>Teacher Talk</u> JTE と ALT が「人物」に 関する会話を。その 中でリーダーシップを話 題に出す。 ・ <u>テーマトーク2</u> 2 分 30 秒で“リーダー シップとは”について考 えを伝え合う。 反省:もう少し短く ○ <u>Teacher Talk</u> 前回のスライドを使い ながら、ガンディーのリー ダーシップについて簡単 におさらいをする。	・ALT に「 オススメの歌 手 」について質問し、デモ ンストレーションを行う。 ・生徒と一緒に ALT のオ ススメの歌手について聞 き出していく。 ・ペアを作って生徒に話 をさせる。 ・「人物」に関するトーク テーマを 3 択で示す。 ・ALT の質問に答える。 ・ 生徒に質問をし、答えさ せながら説明をしていく。 ・期間指導を行い、個別 に支援する。 ・ペアを作って生徒に話 をさせる。 ・生徒とインタラクションし ながら、ALT に前回の学 習内容を伝えていく。 反省:復習なので短く	・生徒にも質問を促し、 会話を続けるように支 援する。 ・ペアのいない生徒の サポートをする ・机間指導を行い、個 別に支援する。 ・JTE に対して、お気に 入りの人物を聞く。 ・ 生徒にも JTE に質問 するよう促す。 ・ペアのいない生徒の サポートをする ・スピーチの最後 に “What do you think?”を加えるよう指 示する。 ・ ジェスチャーや声の大 きさ、アイコンタクトなど をアドバイスする。 ・前回の授業にいなか ったので、生徒に前回 の学習を覚えてもらうよ うなやり取りをする。	※積極的に話そうとする雰囲気づくり をする。 ◆テーマに合わせた質問をする ことができる【知識・技能】 ◆質問に対して適切に答えるこ とができる【知識・技能】 ※話題を自然に「リーダーシップ」に 持っていく。ALT が「リーダーシッ プ」とはどういうものかと、問いかけ るところから、テーマトークにつなげ る。 ◆相手の意見に対して、自分の 考えを述べたり、質問をすること ができる。【思考・判断・表 現】 ※積極的に自分のことを話そうとする 雰囲気づくりをする。 ※自分の考えを述べ、それに対してコ メントや質問をする練習を行う。 ※クラスみんなで伝えようとする雰 囲気を作る。
		「将来なりたい自分」になるために必要なことを、これまで考えてきたリーダー像をもとに、 マッピングを用いながら相手にわかりやすくまとめて伝えることができる。			

展 開	30分 ○<u>インタラクション</u> ALT が「自分の理想の人物像」を示しながら、「将来になりたい人物像」について生徒に聞いていく。 ○<u>スピーチの練習</u> ・マンダラチャートを用いてアイデアのおさらいを行う ・グルーピングを行う (30秒) ・ナンバリングを行う (30秒) ・動詞を書きこんでいく (2分+追加1分) ・Discourse Marker を書きこんでいく (2分+追加2分) ○<u>前時で作った階層式マッピングを基に、個人で『自分の将来の理想像』のスピーチを練習する</u> ①1分 (個人で) ②立って個人で練習 ②ジェスチャーを入れて ③何も見ずに ○<u>ペアでの意見交換</u> ①<u>横のペアで練習</u> ・聞き手はスピーチを聞きながらメモをとり、コメントや質問を伝える。 ・JTEとALTによるアドバイス ・関係代名詞の who が使えそうな場所を見つける ・アドバイスを取り入れる ・個人での練習 ②<u>縦のペアで練習</u> ・コメントや質問を返す。 ・JTEとALTによるアドバイス ・アドバイスを取り入れる	・生徒とインタラクションしながら、ALT のスピーチに対して生徒からの質問を促す。 反省: 生徒が聞くだけに なっていた。リアクション を促したり、相づちを入れ る練習が不十分であった ・動詞リストと Discourse Marker リストを活用するよう指示する。 ・ジェスチャー以外にも大切なことがあれば、生徒から聞いて取り入れる。 ・何も見ずに練習するよう促す。 ・スピーチの例を示す ・聞き手は、メモをとりながら聞き、メモしたキーワードをもとに、コメントを伝えたり質問をしたりすることを伝える。 ・スピーチをより良くするためのアドバイスをを行う。 ・アドバイスを取り入れる時間をしっかりとる 反省: アドバイスを 取り入れる時間を当日と って なかった ・机間指導し、アドバイスをを行う。 ・友達が特に良いと言っ	・「自分の理想の人物像」を伝えながら、生徒が将来、どのような人物になりたいと考えているのかに興味を持っていく。もう少し短く ・生徒のスピーチを聞きたいという気持ちを伝える。: 当日無かった ・机間指導し、生徒に質問をしたりアドバイスをしたりする。 ・ノードをつなぐために 動詞や Discourse Markerを活用すること を説明する。 ・スピーチ練習を見ながら、適切なアドバイスを選ぶ。 ・ジェスチャーや問いかけを加えることを指導する。 ・相づちや聞き返しに関 するアドバイスを 行う。 スピーチの終わりを “What do you think?” で締めくくるように指示する。 ・スピーチをより良くするためのアドバイスをを行う。 ・スピーチをより良くするためのアドバイスをを行う。	・※クラスみんなで ALT の話す内容を聞こうとする雰囲気を作る。 ※「将来になりたい自分」の姿を仲間や ALT に伝えたいと思うように話を進めていく。 ※ALT にスピーチを聞いてもらうという必然性を持たせる。 ◆ALT のアドバイスに応じて、自分の力でマッピングをブラッシュアップしようとしている。【主体的に取り組もうとする姿勢】 良かった点 ALT がグルーピングやナンバリングの説明をし、JTE が板書で例を示すことで、生徒が集中して聞いていた。また、理解を促すことができた。 ※階層式マッピングシートを見ずにスピーチを行うよう指示する。 ◆仲間の考えを聞き、自分がどう思ったかをコメントとして伝えることができる。【思考・判断・表現】 ※関係代名詞 who をスピーチにどのように取り入れるかを考える時間をとる。 ◆仲間や ALT からもらった助言を積極的に取り入れようとしている。【主体的に学ぼうとする姿勢】 ※アイコンタクト、ジェスチャー、表情などを大切にするよう伝える ※アドバイスを取り入れる時間をとる ※グループみんなで聞き、しっかりとコメントを伝えようとする雰囲気を作る。仲間の発表に対して、要点をまとめて、適切なアドバイスができる。【思考・判
--------	--	--	--	--

		・<u>個人での練習</u> ○<u>グループで伝え合う</u> ・4 人グループになり、1 人ずつ発表していく。 ・聞き手はコメントやアドバイスを付箋に書いて渡す。	てくれた意見のノードにマ ー ク を 付 け て”especially”を加えさ せる。 ・1 人 2 分×4 人で回る ように時間を測る。	・感想とアドバイスを述 べる。	断・表現】 良かった点 関係代名詞の who を活用している生徒がいたことから、マッピングから 2 か所ほど、who が使えそうな場所を見つける時間がとれた。
ま と め	10 分	○スピーチを振り返りシート に書く。 ○感想を仲間に共有する。 ○振り返りシートに感想を 記入する。 ・できたこと ・もやもやしたこと ○教師によるコメントとのり しろを伝える。	・机間指導し、アドバイ スを行う。 自分の意見や感想、発表 を聞いて深まったことや 発見を記入させる。	・机間指導し、アドバイ スを行う。 ・授業の振り返りと、コメ ントを伝える。	※関係代名詞 who や Unit5 で習った表現を用いた文の形・意味・用法を理解しているかを確認するために書かせる。 反省：まとめの部分の時間が取れな かったこと。
◇次回の授業では、さらに多くの友人と意見交換をし、アドバイスをもらいながら自分のスピーチをブラッシュアップしていくことを伝える。完成したスピーチを Unit Activity の取組として仲間の前で発表し、自分の決意を聞いてもらうことを伝える。					